

別紙 2 : 登壇者略歴

末吉 竹二郎 氏

国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) 特別顧問

1967 年三菱銀行入社。ニューヨーク支店長、取締役、東京三菱銀行信託会社 (ニューヨーク) 頭取を経て、1998 年、日興アセットマネジメント副社長就任。この時代に UNEP FI の運営委員会メンバーに参加し、同活動の支援を開始する。2002 年退社後、UNEP FI の 2003 年東京会議の招致に注力。現在も引き続き UNEP FI に特別顧問として関わる他、環境問題や企業の社会的責任 (CSR)、社会的責任投資 (SRI) について、各種審議会、講演、メディアなどで啓蒙に努めている。環境省中央環境審議会総合政策部会「環境と金融に関する専門委員会」委員長。

Will Oulton 氏

FTSE グループ 責任投資統括責任者

イギリスのフィナンシャル・タイムズ紙とロンドン証券取引所が共同出資し、欧州の代表的な投資指標である FTSE100 種総合株価指数を含む世界の 12 万を越える株式、債券、オルタナティブの指数を構築・管理する FTSE グループにおいて、グローバル・セールス・ディレクター、最高執行副責任者等を歴任。現在、同社の責任投資統括責任者として責任投資製品・サービスの管理・開発を率い、SRI の代表的指数である FTSE4Good 指数シリーズの推進に関与している。持続可能で責任ある投資を促進する欧州フォーラム (Eurosif) 理事会メンバー。

加藤 正裕 氏

三菱 UFJ 信託銀行 投資企画部 業務戦略グループ 主任調査役

三菱 UFJ 信託銀行入社後、米国三菱 UFJ 信託銀行出向など国内外の運用関連セクションでアナリスト、ファンドマネジャー業務を担当。2004 年には三菱信アセットマネジメント株式会社 (現三菱 UFJ 投信株式会社) で、個人向け SRI 投信「ファミリー・フレンドリー」を開発。2005 年より現職。同社において、国連のアナン前事務総長が提唱する「責任投資原則」の署名、年金向け SRI ファンド開発などを担当。

Paul Druckman 氏

アカウンティング・フォー・サステナビリティ (A4S) 議長、欧州会計士連盟 (FEE) サステナビリティ政策グループ議長

テクノロジー関連の企業を立ち上げる等、多くの企業の経営に関与する。2004 年から 2005 年までイングランド・ウェールズ勅許会計士協会 (ICAEW) 会長。A4S は、持続可能性 (サステナビリティ) を意思決定と報告のプロセスに組み込むための実務指針と手法を開発することを目的として 2004 年に創設されたプロジェクトであり、現在、日本公認会計士協会を含む 12 カ国 150 以上の団体が参加している。また、FEE では欧州委員会や議会との連携のもとに、ESG に関する情報開示についての調査研究、政策検討等を行っている。

荒井 勝 氏

大和証券投資信託委託株式会社 取締役兼専務執行役員

1972 年大和証券入社。カイロ・アメリカン大学留学、サウジアラビア駐在、大和 ANZ インターナショナル社長などを経て、1992 年大和証券投資信託委託株式会社入社。現在、同社の運用本部長を務める。企業のサステナビリティ報告における報告基準として事実上の世界標準となっているグローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) ガイドラインの第 3 次改訂作業に、投資家諮問委員会メンバーとして参加。2005 年、FTSE4Good 指数の方針委員会メンバーに就任。カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト・ジャパンのアドバイザーグループにメンバーとして参加。

水口 剛 氏

日本公認会計士協会 経営研究調査会サステナビリティ情報開示専門部会長、高崎経済大学経済学部教授

1989年英和監査法人（現あずさ監査法人）入所後、1997年から高崎経済大学にて、環境会計、NPO会計、SRI、環境監査などの研究・教育に従事。環境省中央環境審議会総合政策部会「環境と金融に関する専門委員会」委員。NPO法人社会的責任投資フォーラム理事。

森 洋一 氏

日本公認会計士協会 経営研究調査会サステナビリティ情報開示専門部会副部長

2001年朝日監査法人（現あずさ監査法人）入所後、会計監査や環境・CSR関連業務に従事。その後、温室効果ガス（GHG）関連業務、サステナビリティ開示や排出量取引制度等の調査研究、アドバイザリー業務に従事。気候変動情報開示基準審議会（CDSB）にてフレームワーク開発に、国際監査保証基準審議会（IAASB）にてGHG情報の保証基準開発に参加している。日本公認会計士協会業務本部研究員。